

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	映像リテラシーB1（カメラ基礎）	
科目基礎情報							
開設学科	放送芸術科		コース名		開設期	前期	
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	石川 祐貴			実務経験の有無・職種	有・放送業務カメラマン		
学習目的							
この授業を通しカメラ機材、撮影手法を学ぶだけではなく、映像とは何を訴えているのか、伝えようとしているのかを知る事が目的で放送業界で映像の概念はどんな職種に従事していても必要な知識である。 映像を知ることがこれからの作品制作やテレビ番組、映画鑑賞など見る目を養うことに繋がるという事を学習する							
到達目標							
この授業を通し、学生間の共通認識ができること。 映像に対する感性を育み、プロになる第一歩の意識を持つこと。 社会人になることへの心構えを学び、スキルアップと同時に映像への興味を何段階も上位へ引き上げることを目標とする。 他授業、特に実習授業にカメラ基礎で学んだ知識が生かせることを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	この授業ではテキストを毎回配布、重要ポイントが空欄になっている為、テキストに書き込み、映像の視聴を交えながらプロの感性を理解する授業展開をします。						
注意点	この授業ではキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。遅刻や欠席は認めない。 授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。 ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	60%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する				
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	カメラの基礎とは			仕事の分類、カメラマンから見た番組制作方法を理解する			
2回	カメラワークについて			カメラワークの名称、動きを理解する			
3回	カメラサイズについて			カメラの基本となる画角、心境、思考を学ぶ			
4回	スタジオワークとは(1)			スタジオ業務の基本、機材、注意点を学ぶ			
5回	スタジオワークとは(2)			スタジオ業務の撮影方法、スイッチング業務を理解する			
6回	ロケーション撮影とは(1)			ENGの意味、撮影機材、注意点を学ぶ			
7回	ロケーション撮影とは(2)			撮影手法とロケーションの意味を学ぶ			
8回	撮影準備について			ホワイトバランス、アイリス、被写界深度、色温度を理解して準備が出来るようになる			
9回	イマジナリーラインとは			会話軸、方向性の重要性を理解する			
10回	カメラ設定とは			タイムコード、フォーマット、フロッパー除去、インターレース等の設定の理解			
11回	中継業務とは			中継の規模、伝送方法、DVD視聴で中継業務を学ぶ			
12回	映像ケーブルの種類			映像ケーブルの種類、用途を把握する			
13回	特殊機材			特殊機材を知って、目的用途を思考し、作品制作に生かす			
14回	ドラマ撮影手法			ドラマの撮影基礎、テクニック、レンズの使い方を知り、作品制作に生かす			
15回	構図の基本			様々な構図の在り方を理解し、今まで学んだ基本を精査して自分の形を造る			